

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1034））
2. 日時：平成30年6月14日 10時00分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

津金主任安全審査官、照井安全審査官、宇田川原子力規制専門職、  
堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 工認チーム 副長 他6名

東北電力株式会社：原子力部（原子力技術） 担当

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 設備技術グループ 副長 他1名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 保守計画課 担当

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力品質保証） 担当 他1名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当

## 5. 要旨

(1) 日本原子力発電から、6月11日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請のうち、強度に関する説明書について説明があった。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

<弁の強度計算書>

- 2-26B-7 弁について、本申請から工事計画対象となった理由を整理して提示すること。

<多目的タンクの強度計算書>

- 概要図において、オーバーフローノズルの位置が分かるよう図面を修正すること。

<発電用火力設備の技術基準による強度に関する説明書>

- 管の厚さの計算式について最高使用圧力を1.5倍する必要がないか確認すること。

<残留熱除去系海水系ポンプの強度計算書>

- 残留熱除去系海水系ポンプのボルトに係る荷重について、先行炉での取扱いも踏まえた上で、自重を考慮する必要がないか整理して提示すること。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

提出資料：

- ・ 重大事故等クラス2弁の強度計算書の説明分類
- ・ V-3-5-5-1-2 弁の強度計算書

- ・クラス2弁の強度計算書の説明分類
- ・V-3-2-5 クラス2弁の強度計算方法
- ・V-3-9-2-4-1-1 弁の強度計算書
- ・クラス3容器の強度計算書の説明分類
- ・V-3-10-1-1-5-2 多目的タンクの強度計算書
- ・V-3-別添4 発電用火力設備の技術基準による強度に関する説明書